

高度成長と財政

コメント用参考資料

2022年4月19日

成城大学社会イノベーション学部

後藤康雄

大局的整理1：マクロ経済政策の視点

- 試行錯誤を繰り返してきたわが国のマクロ政策
- 問題意識・・・過去の政策に対する認識に誤り・偏りがあるのではないか

発足時期	首相	在職日数	主な時代背景	与党（連立体制等）
2021年10月	岸田文雄		新型コロナ流行 ウクライナ情勢	自民・公明
2020年9月	菅義偉	384	新型コロナ流行 東京五輪・パラリンピック	自民・公明
2012年12月	安倍晋三	2,822	改元（平成→令和）	自民・公明
2011年9月	野田佳彦	482	復興・原発事故対応	民主・国民新党
2010年6月	菅直人	452	東日本大震災	民主・国民新党
2009年9月	鳩山由紀夫	266	普天間基地移設問題	民主・社民・国民新党
2008年9月	麻生太郎	358	リーマン・ショック	自民・公明
2007年9月	福田康夫	365	北海道洞爺湖サミット	自民・公明
2006年9月	安倍晋三	366	教育基本法改正	自民・公明
2001年4月	小泉純一郎	1,980	米同時多発テロ 構造改革（郵政民営化等）	自民・公明

出所：首相官邸ホームページ、公益財団法人ニッポンドットコムホームページ等を参考に、後藤作成

大局的整理2：経済理論の視点

■問題意識・・・ケインズの主張への認識に誤りがある

- 一般的な発想の流れ？・・・ケインズの政策→財政政策などを通じて経済をよくすることができる＝経済成長も実現できるはず

■成長に向けての政府の役割は？・・・市場の失敗(市場メカニズムの不完全性)を是正するなどして、経済資源の有効活用に向けての環境を整備することではないか

